

トピック(テーマ)	信州の藩学(藩校)		
ねらい	江戸時代の教育は、武士の子弟を対象とした藩学(藩校)と庶民の子弟対象の私塾・寺子屋に大別される。江戸時代後半に信州の諸藩で創立された藩学(藩校)の設立経過・教育内容・教師・生徒などについて調べる。		
キーワード	松代藩文武学校 松本藩崇教館 上田藩明倫堂 高遠藩進徳館 佐久間象山 阪本天山 正受老人 山村蘇門 聖廟 儒学 朱子学 昌平黌		
概要を知るためのツール	1	書名 近世藩制・藩校大事典 著者名 大石学／編 出版社 吉川弘文館 出版年 2006.3 内容紹介 第1部藩制・藩校研究の概観、第2部藩政・藩校用語解説、第3部藩制・藩校総覧から構成されている。飯田藩・飯山藩・岩村田藩・上田藩・小諸藩・須坂藩・諏訪藩・高遠藩・田野口藩・松代藩・松本藩の藩校が取り上げられている。	
	2	書名 国別 藩と城下町の事典 著者名 工藤寛正／編 出版社 東京堂出版 出版年 2004.9 内容紹介 各藩の政治・沿革などが簡略まとめられている。城下町の案内もあり現地を訪れる際に役立つ。藩校の設立についてもいくつかの藩で記述されている。松代藩では、旧真田邸と宝物館、藩士の教育施設文武学校跡、佐久間象山を祀る象山神社などの項目がある。	
	資料リスト	1	書名 信州の藩学 著者名 千原勝美／著 出版社 郷土出版社 出版年 1986.7 内容紹介 信州で設立された11藩学と2郷学について、設立の経過、教育内容、藩校の廃止と学校の創設をおもな内容としている。信州の藩学研究の基本的な著作である。明治維新时期における藩校改革や廃藩置県後の藩校から学校創設の経過も学ぶことができる。
		2	書名 長野県教育史 第1巻 総説編1 著者名 長野県教育史刊行会／編 出版社 長野県教育史刊行会 出版年 1978.3 内容紹介 第1章近代以前の教育 第1節藩校の設立と展開。内容は、藩校の設立、藩校の教育、維新时期の藩校改革と廃止、留学生と貢進生で構成されている。1の著作同様に信州全体の藩校・藩学を理解するうえで重要な文献である。なお本書には、私塾・寺子屋、郷学校についての記述もあり、近代以前の信州の教育全体を俯瞰することができる。
		3	書名 長野県史 通史編 第6巻 近世3 著者名 長野県／編 出版社 長野県史刊行会 出版年 1989.3 内容紹介 武士層の学芸と藩校の項で、信濃各藩の藩校と郷学、松代藩文武学校の設立、高遠藩進徳館の設立、藩校の教育、維新时期の藩校改革について語られている。松代藩文武学校と高遠藩進徳館の設立を中心に上げている。
		4	書名 長野県教育史 第7巻 史料編1 著者名 長野県教育史刊行会／編 出版社 長野県教育史刊行会 出版年 1972.3 内容紹介 信州の11藩の藩校と2郷学の史料が収録されている。高遠藩では、学問所創置につき諸用日記、高遠藩進徳館木造進献雑記、学士小伝取調(阪本天山・中村中隆など)等がある。松代藩文武学校の学士小伝には林単山・鎌原桐山が記録されており、また山寺常山碑文も掲載されている。信州の藩学研究には欠かせない史料群である。
雑誌	1	論題名 信州洋学史研究序説：藩校旧蔵書と関連人物を中心に 著者名 大橋敦夫／著 雑誌名 上田女子短期大学紀要 出版年 1993 巻号頁数 (16), 61-120,	

	2	論題名	信州における藩学の体育 : 2. 歴史的研究
		著者名	松沢平一 / 著
		雑誌名	日本体育学会第22回大会 会議録・要旨集
		出版年	1971
		巻号頁数	日本体育学会大会号/第22回
インターネット情報	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
		概要	「教育関係」に藩校に関する資料多数、映像資料もある。
	2	サイト名	長野県市町村史誌等目次情報データベース
		URL	http://misuzu-mokuji.net/
		概要	市町村史誌等に藩校に関する項目が載っているかを調べることができる。
新聞	1	見出し	開智学校
		発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊19ページ
		年月日	2013. 1. 3
	2	見出し	旧藩校の洋楽書と赤松小三郎講演会
		発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊31ページ
		年月日	2018. 6. 9
	3	見出し	松本藩校「崇教館」の初学者向け教科書
		発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊31ページ
		年月日	2014. 3. 6